



笑顔と夢を絆でバラエティーショー

7月6日(土)に、水梨コミュニティセンターを会場に、東京からお出でくださったプロの芸人さんによるステージがありました。皆さんは、司会・漫談のナナオさんをリーダーとする、「笑顔と夢を絆でプロジェクト」のメンバーです。震災以降、毎年、気仙沼や南三陸の学校で



公演を実施していましたが、今年は、いっぽの子供たちのために来てくださいました。だから、いっぽの席はステージ正面の一番前です。紙切り、民謡もよかったです。特に子供たちの目を輝かせたのは、イリュージョンの、ジュニア渚さん一行です。目の前で繰り広げられるイリュージョンに、子供たちは食い入るように見つめていました。

また、紙切りのつねむねさんは、開場前の時間帯に、会場に入れないう方を飽きさせないように、紙切りだけでなく、バルーンアートも披露してくださいました。民謡の皆さんの歌声は子供たちの心に響いていましたし、何よりすごいのは、こういう方々が「いっぽの子供たちのために」とわざわざ東京から駆けつけてくださったことです。こういう温かい志は必ず子供たちにいい影響を与えると信じています。

口腔ケア研修会 7月7日(日)

九州から、歯科医の先生をお招きしました。先生も気仙沼には何度もお越しになっているそうです。先生は長い間、新生児の集中治療室で小さい命と向き合ってきた。幼い子を亡くした親へのグリーフケアに取り組んできました。まず、マザー・テレサのいのちの賛歌を題材に、命についてお話してくださいました。いのちは多種多様に大切であるという話の後の、「生まれた子に祝福」ということばが印象的でした。どんな短い命でも「祝福」ということばは説得力がありました。私たちも「生きている子に祝福を」という気持ちで接したいものだと思います。

後半は、口腔ケアの実習と実際に子供をみての指導です。子供はやはり人柄を見抜くのでしょうか、写真の子は最初は嫌がっていたのですが、先生の膝の上で安心したように口を開いていました。日曜日に研修会を開いた意義がありました。



夏休み中の いっぽ の生活

夏休み中の活動についてお知らせします。

- 09:00 いっぽを迎えの車が出発
- 10:00 はじまりの会、ラジオ体操
学習タイム
※学校からの宿題や、手足の訓練、制作活動など、全員で机に向かいます。
- 11:00 水分補給、自由時間
- 12:00 昼食(お弁当持参)
- 13:00 月・水・金は水梨小へ移動して体力づくり
(運動靴があれば持参をお願いします。)
火・木は庭で水遊び(水着と着替え持参)
- 15:00 おやつ
- 15:30 自由時間
- 16:20 帰りの会
- 16:30 送りの車がいっぽを出発



※天候により活動内容が変わることがあります。また、天候によっては、火・木以外でも水遊びをする可能性があります。暑いときは水遊びの用意をお願いします。

自転車に乗れた!

自転車は子供たちが大好きでよく乗っていますが、補助輪が付いています。新しい自転車は補助輪がありません。なんと、子供たちの中には自転車に乗れる子が出てきました。子供のバランス感覚はすごいんですね。



ママかふえ 8月27日(火) 10:00~ 「ママのための体メンテナンス」

新しく支援員となった「トラにい」は鍼灸師の資格を有しています。そこで、8月のママかふえは、夏の間疲れたママの体のメンテナンスをしようと考えました。体にいい話だけでなく、実際に体をリラックスさせる方法を学びます。もちろん、飲み物とお菓子等も用意します。参加料無料、利用の有無にかかわらずどなたでも参加できます。皆さんでお越しください。